

宿泊約款（日本語）

第1条 適用範囲

1. 本宿泊約款（以下「宿泊約款」といいます。）には、当館と宿泊契約及びこれに関連する契約の締結を行う者（以下「宿泊者」といいます。）との間の権利義務関係が定められています。
宿泊約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条 宿泊契約の申込み

1. 宿泊者は、宿泊契約の申込みまたは宿泊の予約をするときは、次の事項を当ホテルに申し出ていただくものとします。
 1.) 宿泊者名、住所、電話番号等
 2.) 宿泊日及び到着予定時間
 3.) 利用宿泊プラン
 4.) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊者が、宿泊中に前項第 2.) 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し出た場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。
3. 宿泊者は、合理的な理由のない、同一利用者による同一日における重複する宿泊及び類似の日程における複数の宿泊の宿泊契約の申込みは、当館が可及的に多くのお客様に宿泊の機会を提供するため禁止されていることを了解の上、宿泊契約の申込みをするものとします。

第3条 宿泊契約の成立等

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、宿泊プランによっては、前条の申込後、事前決済を行っていただき当ホテルが入金を確認したときに成立するものとします。なお、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

第4条 宿泊契約締結の拒否

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 1.) 宿泊の申込みが、宿泊約款によらないとき
 2.) 満室（員）により客室の余裕がないとき
 3.) 宿泊者や施設の利用者が、次の（イ）から（ハ）に該当すると認められるとき
 - （イ）暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）に規定する暴力団（以下「暴力団」といいます。）、暴力団員（以下「暴力団員」といいます。）、暴力団準構成員または暴力団関係者その他反社会的勢力であるとき
 - （ロ）暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他団体であるとき
 - （ハ）法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者がいるとき

4.) 宿泊者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき
5.) 宿泊者が特定感染症の患者等であるとき
6.) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき
7.) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき
8.) 宿泊者が、宿泊約款または当館内において当館の定める利用規則を遵守しないおそれがあると認められるとき
9.) 当ホテル施設を管轄する旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき

第5条 宿泊者の契約解除権等

1. 宿泊者は、当ホテルの責めに帰すべき事由により宿泊契約を解除するときは、当ホテルに申し出て宿泊契約を解除することができます。
2. 宿泊者は、キャンセル規定において変更・解約を不可とされているプランを除き、当ホテルに申し出て、宿泊契約を任意に解約することができます。この場合、当ホテルは、キャンセル規定に従い取消料を申し受けます。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の21時になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することができます。

第6条 当ホテルの契約解除権

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 1.) 宿泊者が宿泊に関して、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき
 2.) 宿泊者が特定感染症の患者等であるとき
 3.) 天災、施設の故障等、やむを得ない事情により宿泊させることができないとき
 4.) 宿泊者が次の(イ)から(ハ)に該当すると認められるとき
 - (イ) 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員または暴力団関係者その他反社会的勢力であるとき
 - (ロ) 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他団体であるとき
 - (ハ) 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者がいるとき
 5.) 宿泊者が宿泊施設、もしくは宿泊施設従業員に対し、暴力、脅迫、恐喝等、威圧的な不当要求を行い、あるいは合理的な範囲を超える負担を要求したとき
 6.) 宿泊者が宿泊約款または当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき
 7.) 当ホテル施設を管轄する旅館業法施行条例の規定する場合に該当するとき
 8.) 宿泊者が保護者の許可なく、未成年者のみで宿泊しようとするとき
 9.) 本項3.)号以外の理由により、当ホテルが契約した客室を宿泊者に提供できないとき
(ただし、この場合は可能な限り他の宿泊施設を斡旋するものとします。)
 - 10.) 当ホテルの明確な承諾なく宿泊契約の地位または宿泊契約に基づく権利が譲渡されたと認められるとき
 - 11.) 同一利用者による、合理的な理由のない、同一日における重複する宿泊契約の申込み、または類似の日程における複数の宿泊契約の申込みがされたと認められるとき

第7条 宿泊の登録

1. 宿泊者は、宿泊日当日、当ホテルにおいて、次の事項を登録するものとします。
 - 1.) 宿泊者の氏名・住所・電話番号及び職業
 - 2.) 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号
 - 3.) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊者が第10条の料金の支払いを、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただくことがあります。

第8条 客室の使用時間

1. 宿泊者が当ホテルの客室を使用できる時間は、宿泊契約ごとに設定されたチェックイン時間からチェックアウト時間までとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には追加料金を申し受けます。

第9条 利用規則の遵守

1. 宿泊者は当ホテル内において当ホテルが定め当ホテル内に掲示した利用規則に従うものとします。

第10条 料金の支払

1. 宿泊料金の内訳は、以下のとおりとします。

宿泊料金 追加料金 税金 サービス料（その定めがある施設に限ります）
2. 宿泊料金等の支払は、通貨又は当ホテルが認めたクレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊契約の成立時からチェックアウトの時まで又は当ホテルが請求した時、当ホテルにお支払いいただきます。
3. 当ホテルは、当館が宿泊者に対する客室の提供の準備をし、使用が可能になったのち、宿泊者が任意に宿泊しなかった場合においても宿泊料金を申し受けます。

第11条 当ホテルの責任

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第12条 宿泊者の手荷物又は携帯品の保管

1. 宿泊者の手荷物又は携帯品について、当館では受け取り・お預かりは一切致しません。万一郵送・宅配にて手荷物を発送した場合も、当館ではその受け取り・お預かりにおいて一切責任を負いません。

2. 宿泊者がチェックアウトをした後の手荷物又は携行品は、当ホテルが予め承諾したときに限って責任をもって保管します。当ホテルが予め申し受けた手荷物又は携行品の預かり期間内に引取りがされないときは、故意に遺棄され所有権が放棄されたものとみなす取扱いをさせていただきます。
3. 宿泊者がチェックアウトしたのち、宿泊者の手荷物又は携帯品等の携行品が当ホテルの承諾なく残されていた場合において、意図的に放置されたことが合理的に推認される場合、またはチェックアウトの日から当ホテルの定める保管期間が経過しても携行品に関するご連絡がない場合には、故意に遺棄され所有権が放棄されたものとみなす取扱いをさせていただきます。

第 13 条 お持込品等の取扱い

1. 宿泊者がお持込みになった現金、貴重品、手荷物又は携行品については、宿泊者にて保管・管理していただくものとし、当ホテルが個別の手續においてにその保管・管理をお引き受けした場合を除き、毀損・汚損・紛失等について当ホテルに故意又は重大な過失がある場合に限り損害を賠償するものとしします。
2. 前項の賠償については、客観的に損害額が立証されることを条件に当該損害を賠償するものとします。宿泊者の主観的な価値にかかわらず、損害額の客観的な評価が困難な場合については、10万円を限度に相当額を賠償します。

第 14 条 宿泊者の責任

1. 宿泊者の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当ホテルは当該宿泊者からその損害を賠償していただきます。
2. 当ホテル施設内は喫煙可能ルーム、及び屋外の指定喫煙場所を除き禁煙です。指定場所以外の客室もしくは共用部で喫煙が確認できた場合はクリーニング代及び客室売り止めの損害賠償を別表第 3 に掲げるところにより徴収致します。また、喫煙可能ルームの喫煙は電子タバコ（加熱式タバコ）に限ります。紙たばこは使用頂けません。紙たばこを使用した場合は別表第 3 に掲げる違約金の対象となります。

第 15 条 違約金

1. 宿泊契約成立後、お客様ご都合によるキャンセルにつきましては、キャンセルポリシー別表第 2 に掲げるところによります。宿泊パッケージは、その公示額（以下、パッケージ料金とする）を違約金として収受します。
2. 同一の宿泊客が連続して宿泊する契約においては、第 1 日目の宿泊料（またはパッケージ料金）を違約金として収受します。
3. その他、当ホテルが企画する宿泊パッケージにおいて、前途の規定とは異なる違約金を定めることがあります。

別表第 1 宿泊料金等の内訳(第 2 条第 1 項及び第 10 条関係)

宿泊者が払うべき総額	宿泊料金	基本宿泊料(宿泊パッケージ料金)+消費税
	追加料金	追加利用料金+消費税
	税金	その他、法令により規定される消費税以外の諸税(宿泊税など)

備考：基本宿泊料は当ホテルのウェブサイト等に掲示する料金によります。子供料金の設定はありません。

別表第2 キャンセルポリシー

契約解除の通知を受けた日	3日前	2日前	前日	当日	不泊
宿泊料金に対する違約金比率	無料	50%	80%	100%	100%

注) %は、宿泊料金（他事業者との提携宿泊プランにおける提携料金分を含みます。）に対する違約金の比率です。尚、（提携する他事業者を含む）プラン毎に定められたキャンセルポリシーにしたがって計算した金額が上記によって計算した違約金の額を上回る場合、その金額を違約金として収受します。

別表第3 喫煙による違約金(第14条第2項関係)

客室内喫煙によるクリーニング代	1室につき30,000円（税込）
客室内喫煙による客室売止費用	客室売止日数×30,000円（税込）

注) 客室売止日数は当ホテルの判断により実際に販売を差控えた日数とします。ただし、上限を10日分とします。

第16条 客室への入室について

- 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊者のチェックイン後であっても宿泊者の許可なく客室へ入室することがあります。
 - 清掃等当ホテルのサービスを提供するとき
 - 法令の規定、利用規則、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、または同行為をしたと認められるとき
 - 警察・消防の指導に従い、入室が必要と判断されたとき
 - 建物・設備の保全上必要があると判断されたとき
 - 宿泊者の安否確認・安全確保のため必要と当館が判断したとき

第17条 駐車場の責任

- 駐車場はご利用頂けません。無断で駐車された場合は1泊あたり30,000円の違約金を徴収します。

第18条 準拠法及び裁判管轄について

- 宿泊約款は日本法に従って解釈され、宿泊約款に関する一切の紛争については、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

附則

最終変更日 2026年6月5日 効力発生日 2026年6月5日

Trip inn 関西空港

〒590-0403 大阪府泉南郡熊取町大久保中 1-13-13

Terms and Conditions of Accommodation (English)

Article 1 Scope of Application

1. These Accommodation Terms and Conditions (hereinafter referred to as the "Accommodation Terms and Conditions") contain the rights between this hotel and the person who concludes the accommodation contract and related contracts (hereinafter referred to as the "Guest"). Obligatory relationships are established. Matters not stipulated in the Accommodation Terms and Conditions shall be governed by laws or generally established customs.

2. If the Hotel accepts a special agreement to the extent that it does not violate laws and customs, that special agreement shall take precedence, notwithstanding the provisions of the preceding paragraph.

Article 2 Application for Accommodation Contract

1. When making an application for a contract of accommodation or a reservation of accommodation, the guest shall provide the following information to this hotel

- (1) Guest name, address, telephone number, etc.
- (2) Date of stay and estimated time of arrival
- (3) Accommodation plan
- (4) Other items deemed necessary by this hotel

2. If the Guest requests to continue staying beyond the accommodation date set forth in item 2.) of the preceding paragraph during his/her stay, this hotel shall treat such request as an application for a new accommodation contract at the time such request is made.

3. The Guest shall apply for the accommodation contract with the understanding that duplicate accommodation on the same date by the same user or multiple applications for accommodation on similar dates by the same user without a reasonable reason are prohibited in order for this hotel to provide accommodation opportunities to as many guests as possible.

Article 3 Establishment of Accommodation Contract

1. The accommodation contract shall be concluded when this hotel accepts the application as described in the preceding article. However, depending on the accommodation plan, the accommodation contract shall be concluded when this hotel confirms the payment of the advance payment after the application as described in the preceding article. This shall not apply when this hotel proves that it did not accept the reservation.

Article 4 Refusal to conclude an accommodation contract

1. This hotel may not accept the conclusion of an accommodation contract in the following cases.

- 1.) When the application for accommodation does not comply with the accommodation terms and conditions
- 2.) When there are no rooms available due to full occupancy.
- 3.) When a guest or facility user is deemed to fall under any of the following (a) to (c):
 - (a) Organized crime groups (hereinafter referred to as "organized crime groups") and organized crime group members (hereinafter referred to as "organized crime group members") as stipulated in

the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991).

), a semi-member of an organized crime group, a person associated with an organized crime group, or other anti-social forces.

(b) When an organized crime group or a member of an organized crime group is a corporation or other organization that controls business activities.

(c) When a corporation has one of its officers who is a member of an organized crime group.

4.) When it is deemed that there is a risk that the Guest will engage in conduct that violates the provisions of laws and regulations, public order, or good morals regarding accommodation.

5.) When the guest is a patient of a specified infectious disease, etc.

6.) When violent demands are made regarding accommodation or a burden that exceeds a reasonable range is demanded.

7.) When accommodation is not possible due to natural disasters, facility failures, or other unavoidable reasons.

8.) When it is recognized that the guest may not comply with the accommodation terms and conditions or the usage rules established by the hotel within the hotel.

9.) When it falls under the provisions of the Hotel Business Act Enforcement Ordinance that has jurisdiction over our hotel facilities.

Article 5 Right of the Accommodation Guest to Cancel the Contract, etc.

1. When a Guest wishes to cancel the accommodation contract for reasons attributable to this hotel, the Guest may cancel the accommodation contract by notifying this hotel.

2. The guest may cancel the accommodation contract at his/her own discretion by notifying this hotel, except for plans that cannot be changed or cancelled under the cancellation policy. In such a case, this hotel will charge a cancellation fee in accordance with the cancellation policy.

3. If the guest does not arrive at the hotel by 9:00 p.m. on the day of stay, this hotel may treat the accommodation contract as having been cancelled by the guest.

Article 6 Right of this hotel to cancel the contract

1. This hotel may cancel the accommodation contract in the following cases

(1.) When it is recognized that the guest is likely to commit an act contrary to the provisions of law, public order, or good morals in connection with the accommodation, or when it is recognized that the guest has committed such an act.

(2.) When a guest is a patient with a specified infectious disease.

(3.) When the hotel is unable to accommodate the guest due to unavoidable circumstances such as natural disasters or breakdown of facilities

(4.) When the Guest is deemed to fall under any of the following (a) to (c):

(a) When the person is an organized crime group, a member of an organized crime group, a quasi-member of an organized crime group, a person associated with an organized crime group, or any other anti-social force.

(b) When the organized crime group or organized crime group member is a corporation or other organization that controls business activities.

(c) When a corporation has one of its officers who is a member of an organized crime group.

- (5) When the guest makes an intimidating and unreasonable demand, such as violence, threats, extortion, etc., to the accommodation facility or an employee of the accommodation facility, or demands a burden that exceeds a reasonable range.
- (6.) When the guest does not comply with the prohibitions in the General Accommodation Conditions or the Rules of Use stipulated by this hotel.
- (7.) When the case falls under the provisions of the Hotel Business Act Enforcement Ordinance that has jurisdiction over our hotel facilities.
- (8.) When a guest attempts to stay as a minor without parental permission.
- (9.) When this hotel is unable to provide the contracted room to the guest due to reasons other than those listed in item (3.) of this clause (however, in such cases, this hotel will try to arrange other accommodations to the extent possible).
- (10.) When it is recognized that the status of the accommodation contract or the rights based on the accommodation contract have been transferred without the express consent of this hotel.
- (11.) When it is recognized that the same user has made a duplicate application for accommodation contract on the same date or multiple applications for accommodation contract on similar dates without any reasonable reason.

Article 7 Accommodation Registration

1. The guest shall register the following items at this hotel on the day of stay.
 - (1.) Name, address, telephone number and occupation of the guest
 - (2) Nationality and passport number in the case of a foreigner who does not have a domicile in Japan
 - (3.) Other matters deemed necessary by this hotel.
2. If the guest intends to pay the charges in accordance with Article 10 by credit card or other means that can be substituted for currency, he/she may be asked to present such credit card or other means at the time of registration in advance as described in the preceding paragraph.

Article 8 Room Hours of Use

1. The hours during which a guest may use a guest room at this hotel shall be from the check-in time to the check-out time set for each accommodation contract.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the hotel may accept use of guest rooms outside of the hours specified in the same paragraph. In this case, additional charges will apply.

Article 9 Compliance with the Rules of Use

1. Guests shall comply with the rules of use established by the hotel and posted in the hotel.

Article 10 Payment of Charges

1. The room charge shall consist of the following
Room charge, additional charge, tax, and service charge (only for facilities that stipulate such charges)
2. Payment of the accommodation charge, etc. shall be made to this hotel in currency or by credit card or other alternative method acceptable to this hotel, from the time the accommodation contract is concluded until the time of check-out or when requested by this hotel.
3. The hotel will charge the accommodation fee even if the guest voluntarily chooses not to stay in the

room after the hotel has prepared and made the guest room available for use.

Article 11 Responsibilities of this Hotel

1. This hotel will compensate for any damage caused to the guest in the performance of the accommodation contract and related agreements, or in the event of non-fulfillment of such agreements. However, this shall not apply when the damage is not caused by reasons attributable to this hotel.
2. Our hotel has inn liability insurance to protect against fires, etc.

Article 12 Custody of luggage or personal belongings of the guest

1. The hotel does not accept or take custody of guests' luggage or personal belongings under any circumstances. Even if luggage is sent by mail or courier, the hotel assumes no responsibility for receiving or taking custody of it.
2. After the guest has checked out, this hotel will take responsibility for the baggage or personal belongings of the guest only if the hotel has given its prior consent. If the baggage or personal belongings are not retrieved by the hotel within the period of custody agreed upon in advance, they will be deemed to have been willfully abandoned and the ownership of the baggage or personal belongings will be deemed to have been relinquished.
3. After the Guest has checked out, if the Guest's belongings such as baggage or personal effects are left behind without the consent of the Hotel, and it is reasonably inferred that they were left there intentionally; Alternatively, if we do not hear from you regarding your belongings even after the storage period specified by our hotel has passed from the day of check-out, we will treat your belongings as having been intentionally abandoned and having relinquished ownership.

Article 13 Handling of personal belongings, etc.

1. The guest shall keep and manage cash, valuables, baggage, or personal belongings brought by the guest, and shall compensate for damage, defacement, loss, etc. only when there is intentional or gross negligence on the part of this hotel, unless this hotel has undertaken to keep and manage such items in accordance with the individual procedures.
2. With regard to the compensation set forth in the preceding paragraph, said damages shall be compensated on the condition that the amount of damages can be objectively proven. In cases where it is difficult to objectively assess the amount of damages regardless of the subjective value of the guest, compensation shall be made in an amount equivalent to up to 100,000 yen.

Article 14 Responsibilities of Guests

1. If the Hotel suffers damage due to the intentional or negligent act of the Guest, the Hotel shall compensate the Guest for the damage.
2. Smoking is prohibited throughout the hotel facilities except in smoking rooms and designated outdoor smoking areas. If smoking is confirmed in guest rooms or common areas other than the designated places, cleaning fees and compensation for loss of room availability will be charged as stated in Appendix 3. In addition, smoking in smoking rooms is limited to electronic cigarettes (heated tobacco). Conventional cigarettes cannot be used. If conventional cigarettes are used, a penalty as listed in Appendix 3 will apply.

Article 15 Penalty Charges

1. Cancellation by the guest after the accommodation contract has been concluded shall be in accordance with the provisions of Appendix 2 of the Cancellation Policy. For accommodation packages including breakfast, etc., the published amount (hereinafter referred to as “package fee”) shall be collected as a penalty charge.
2. In contracts where the same guest stays consecutively, the first day's accommodation fee (or package fee) will be collected as a penalty.
3. For group guests (15 or more people), a separate penalty fee will be determined as specified in the contract at the time of conclusion of the contract.
4. In addition, accommodation packages planned by our hotel may stipulate penalties that differ from the previous provisions.

Appendix 1 Breakdown of Accommodation Charges, etc.

(Related to Article 2, Paragraph 1 and Article 10)

Total amount to be paid by the guest	Accommodation fee	Basic accommodation fee (accommodation package fee) + consumption tax
	Additional charge	Additional usage fee + consumption tax
	Tax	Other taxes stipulated by laws and regulations, aside from consumption tax (such as accommodation tax), consumption tax

Note: The basic accommodation fee is based on the rates posted on our hotel's website, etc. There are no child rates available.

Appendix 2 Cancellation Policy

The day the notice of contract termination	3 days before	2 days before	previous day	On the day	No-show
Penalty rate for accommodation fees	無料	50%	80%	100%	100%

Note) The % represents the penalty rate applied to the accommodation fee (including the portion of the fee for partnership accommodation plans with other operators).

If the amount calculated according to the cancellation policy established for each plan (including those with partner operators) exceeds the penalty amount calculated as above, the amount determined by the plan will be collected as the penalty.

Appendix 3 Penalty for smoking-related breach of contract (Article 14, Paragraph 2)

Cleaning fee for in-room smoking	30,000 yen per room (tax included)
Room closure costs due to smoking in guest rooms	Number of days rooms are not available × 30,000 yen (tax included)

Note) The number of days for which room sales are suspended shall be the number of days the hotel actually refrained from selling rooms at its discretion. However, the maximum is limited to 10 days.

Article 16 About entering the guest room

1. In the following cases, this hotel may enter the guest room without the guest's permission even after the guest has checked in.
 - 1.) When providing hotel services such as cleaning
 - 2.) When it is recognized that there is a risk of an act that violates legal provisions, usage rules, public order, or good morals, or when it is recognized that the same act has been committed.
 - 3.) When it is determined that entry is necessary in accordance with the instructions of the police and fire department.
 - 4.) When it is determined that it is necessary for the maintenance of buildings and equipment
 - 5.) When the hotel deems it necessary to confirm the safety of the guest and ensure their safety.

Article 17 Parking Responsibility

1. The parking lot is not available for use. If you park without permission, a penalty of 30,000 yen per night will be charged.

Article 18 Governing law and jurisdiction

1. The Accommodation Terms and Conditions shall be interpreted in accordance with Japanese law, and the Osaka District Court shall have exclusive jurisdiction in the first instance for any disputes regarding the Accommodation Terms and Conditions.

Supplementary provisions

Last modified date: June 5, 2026, Effective date: June 5, 2026

Trip inn KANSAI AIRPORT

1-13-13 Okubo Naka, Kumatori Town, Sennan District, Osaka